

日本数学会教育委員会からの報告

【教育委員会】

日時：2024.3.17 11:00～12:10

場所：大阪公立大学 全学共通教育棟 3階 83J 教室

出席：12名

委員会開催後のメール等での議論を含め、議事の概要は以下のとおりである。

1. 次回委員会開催日時について

委員長から学会初日9月3日11時開始との提案があり委員会では了承されたが、その後シンポジウム開催日が9月5日に定まり、委員会も同日に開催されることとなった。

2. 2024年度委員長・副委員長などの選出について

佐野隆志 委員長（山形大学）から、「委員長の仕事」の概説と委員会「内規」の確認があり、通算3期を終える川添充 副委員長（大阪公立大学）と佐野委員長の退任説明があった。伊藤由佳里 副委員長（東京大学）は現在2期目であるとの確認もあった。新委員長選出に際して委員長から次の提案が行われた。「新委員長の判断によりシンポジウム開催を1回（翌年3月）とすることも認め、次年度の再任を前提とした選出は行なわない（翌年3月の委員会で再任等を議論する）。副委員長の人選は新委員長に委ねる（4月末までには選出）とし、現執行部以外の委員による新委員長の「自薦・他薦」を行う。選出できない場合は委員長が新委員長を指名する」。この案に沿い、委員長が新委員長として川添副委員長を指名し委員会として承認した。次年度の副委員長として、伊藤委員と新たに安野史子 委員（国立教育政策研究所）が担当することも認められた。任期（1期：2年）を終える委員に対し、委員長から再任の依頼があり各委員の了承を受け、委員会としてもそれを認めた。

3. 次回教育シンポジウムについて

2023年12月発表のPISAについて、もしくは、この夏に開催されるICMEの報告について、という2案が示され、議論の末、次回のテーマをPISAに関わるものと決定した。開催に向け執行部が中心となって、講演者の選出などを行うこととなった。

4. 退任される委員から

内規に従い退任を迎える高倉樹 委員（中央大学）から挨拶があった。また、新委員1名の推薦があり、委員会では了承された。

【教育委員会シンポジウム】

日時：2024.3.17 14:00～16:40

場所：大阪公立大学 基礎教育実験棟 1階 階段教室

今回の教育委員会シンポジウムは、日本数学会主催・教育委員会担当により「数学・数理科学の未来に向けて」というタイトルで、久保英夫 教育委員会担当理事の司会により行われた。シンポジウム開会に際し、鎌田聖一 日本数学会理事長による挨拶があった。続いて、佐野隆志 教育委員会委員長がシンポジウムの趣旨説明を行った。

今回は、3つのご講演をいただいた：

西山 崇志 氏（文部科学省研究振興局基礎・基盤研究課長）

「数学・数理科学への期待と重要課題 ―最近の話題から―」

清水 扇丈 氏（日本数学会前理事長・京都大学）

「学術の中長期研究戦略（日本数学会）について」

齋藤 政彦 氏（日本学術会議数理科学委員会委員長・神戸学院大学，神戸大学名誉教授）

「未来の学術振興構想(2023)と数学・数理科学」

併せて、質疑応答とディスカッションの時間を設けた。前回に続き対面開催とし約60名の参加があった。なお、講演スライドや関連資料は、教育委員会のウェブサイトに公開済みである。

文責 2023年度教育委員会委員長 佐野隆志